

「緊急安全措置」とは

緊急安全措置とは、特定空家等の認定の有無にかかわらず、「建築物又はこれに附属する工作物が倒壊」、「屋根、外壁等が落下し、又は飛散」、「衛生上有害」、「周辺の生活環境を害する」おそれがあるいずれかの状態にあり、人の生命や身体、財産に危険が及ぶおそれがある場合で、かつ、緊急に対応する必要があるために所有者等に指導等を行う時間的余裕がない時、又は所有者等に指導等を行ったが所有者等の対応を待っている時間的余裕がない時に、所有者等の同意を待たずに、市が必要最小限の範囲で行う危害を回避する措置のことです。

必要最小限の措置の具体例としては、屋根仕上げ材（瓦、トタン板等）が落下・飛散するおそれのある場合に通行人等に危害を知らせる看板やバリケードを設置すること、建物に防御ネットを設置すること、倒れるおそれのある樹木や落下のおそれがある看板をロープ等で補強することや落下のおそれのある屋根材や雨樋などを取り外し、敷地内に存置すること、市道等に相当程度越境した樹木などを剪定・伐採し、スズメ蜂等の巣を撤去することなどを想定しています。

緊急安全措置を講じたときは、措置内容を所有者等に通知します。ただし、所有者等を確知することができない場合や、所有者等に通知することが困難な場合は、文書の通知に代えて市の掲示板に告示するものとします。

なお、緊急安全措置に費用を要した場合は、原則として所有者等に請求するものとします。緊急安全措置を講じたときは、措置の内容を白岡市空家等対策協議会に報告するものとします。